

聞こえのセルフチェック

あてはまる項目にチェック をつけてみましょう。

- 会話をしているときに聞き返すことがよくある。
- 後ろから呼びかけられると気づかないことがある。
- 聞き間違いが多い。
- 話し声が大きいと言われる。
- 見えないところからの車の接近に気づかない。
- 電子レンジの「チン」という音やドアのチャイムの音が聞こえにくい。
- 耳鳴りがある。



チェックの個数はいくつでしたか？

(参考) 一般社団法人日本補聴器販売店協会 HP

- 0 個** 現在の聞こえは問題なさそうです。少しでも聞こえに不調がある場合には、耳鼻咽喉科を受診してみましょう
- 1～2 個** 実生活でお困りのことがあれば耳鼻咽喉科を受診しましょう。
- 3～4 個** 耳鼻咽喉科で相談してみましょう。
- 5 個以上** 早めに耳鼻咽喉科を受診することをお勧めします。

耳鼻咽喉科医師に相談することによって・・・

○耳の疾患など加齢以外が理由の場合は
治療をすることで聞こえが良くなる場合があります！

○加齢による難聴が理由の場合は
聴力検査で補聴器が必要かどうかを判断してもらえます！



耳が聞こえにくいと思ったことはありますか？

聴力は年齢とともに衰え、60代後半では3人に1人が聞こえにくさを感じているという調査結果もあります。聴力の低下はゆっくりと進むため、自分では自覚のない方もいます。

難聴は、認知症発症の危険因子と言われています。難聴の早期診断、並びに補聴器を適正に利用することにより、認知機能低下の予防にもつながります。聞こえが悪く感じたら、早めにかかりつけ医や耳鼻咽喉科に相談しましょう。加齢に伴う難聴の場合、聴力検査を行い、聞こえの程度はどれくらいか、補聴器が必要かを診断してもらうことができます。

補聴器の使用について

聴覚の身体障害者手帳の交付を受けると、補聴器の購入費用の支給を受けられる場合があります。聞こえの程度が障害者手帳の取得に該当するのか、まずは耳鼻咽喉科の医師に相談してみましょう。

○このチラシに関するお問い合わせ先

八頭町地域包括支援センター(郡家保健センター内)電話(0858)72-3574

○身体障害者手帳に関する問い合わせ先

八頭町役場 福祉課(郡家保健センター内)

電話 (0858)72-3590